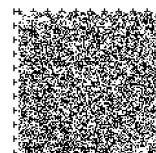


# だい 第 2 しょう 章

ちょうさ けっか  
調査結果

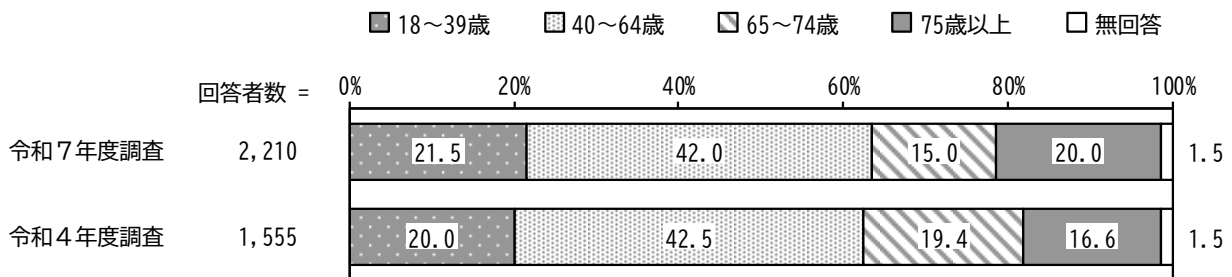


# 1 障害者

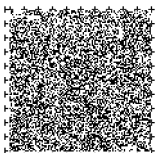
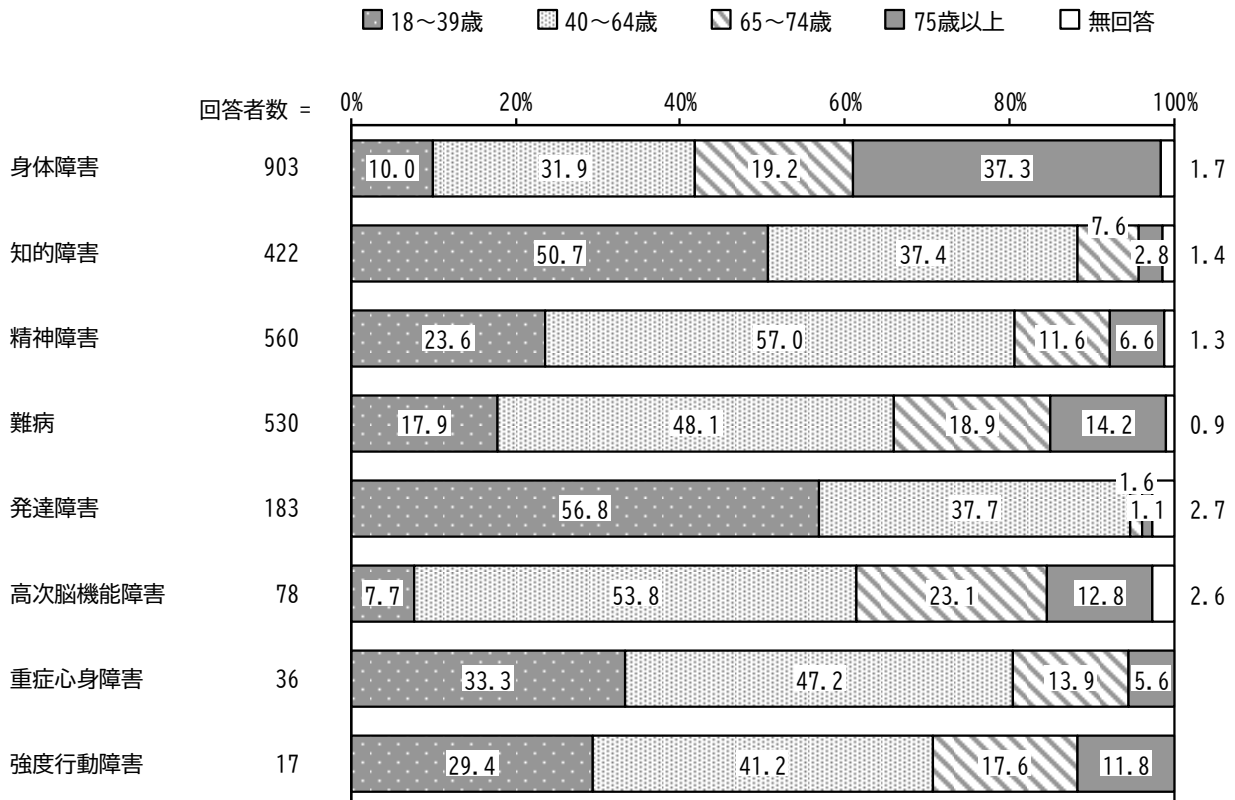
## (1) ご本人の状況

問1 あなた（ご本人）の年齢は、何歳ですか。令和7年9月1日現在の年齢を記入してください。

「40～64歳」の割合が42.0%と最も高く、次いで「18～39歳」が21.5%、「75歳以上」が20.0%となっています。

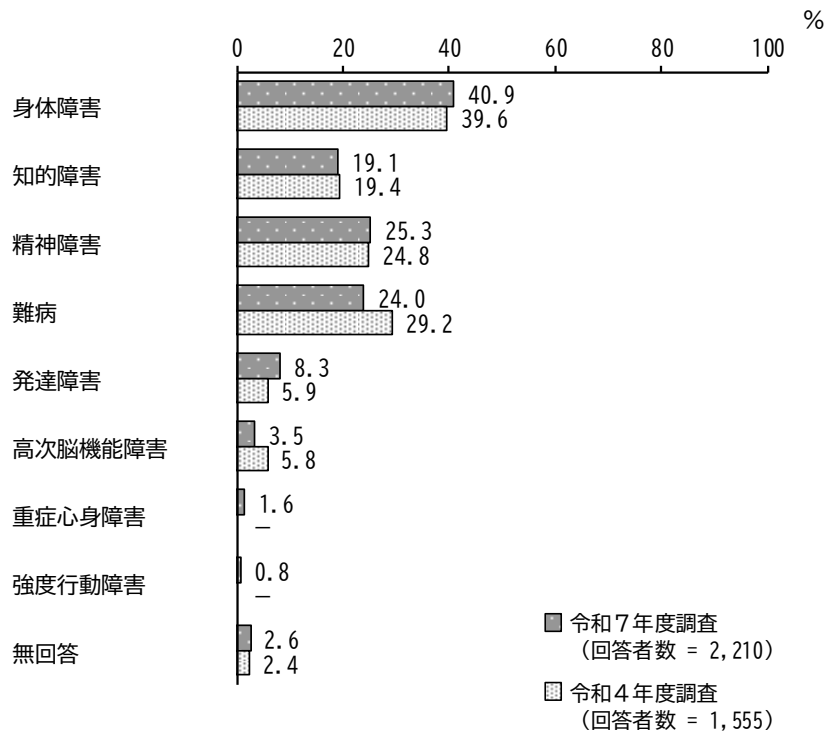


### 【障害種別】



問2 あなた（ご本人）の障害について、お聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

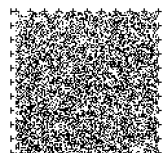
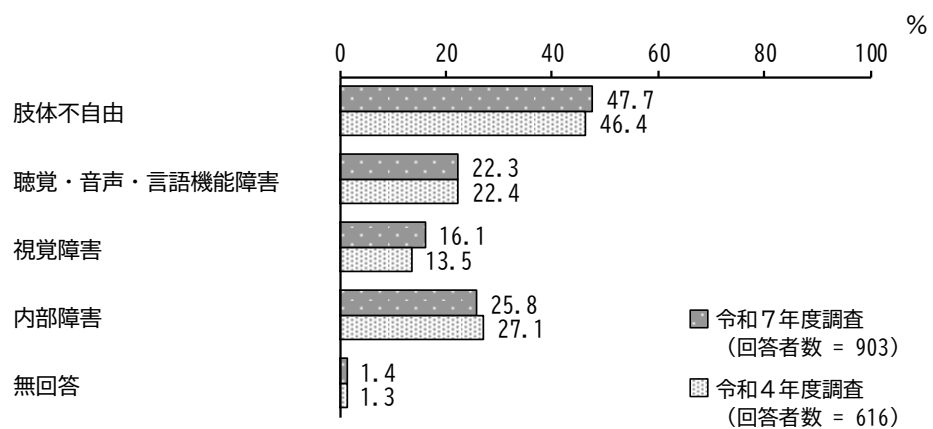
「身体障害」の割合が40.9%と最も高く、次いで「精神障害」が25.3%、「難病」が24.0%となっています。



※回答項目の「重症心身障害」、「強度行動障害」は今回の調査で新たに追加した選択肢です。

### 身体障害の内訳

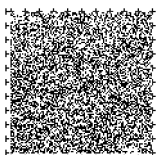
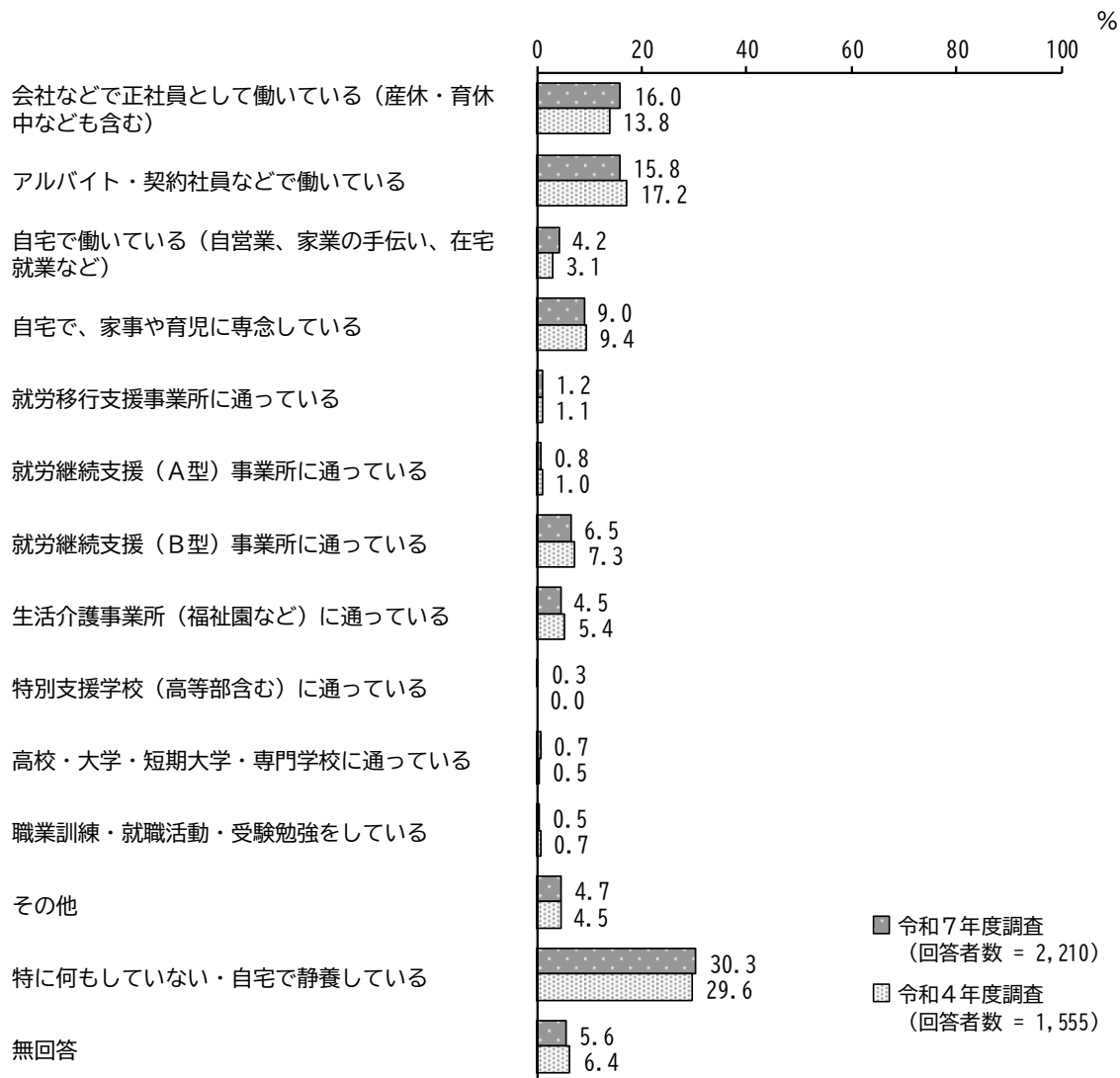
「肢体不自由」の割合が47.7%と最も高く、次いで「内部障害」が25.8%、「聴覚・音声・言語機能障害」が22.3%となっています。



## (2) 仕事や学校生活

問8 あなた（ご本人）は、普段（休日以外）は、どのように過ごしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「特に何もしていない・自宅で静養している」の割合が30.3%と最も高く、次いで「会社などで正社員として働いている（産休・育休中なども含む）」が16.0%、「アルバイト・契約社員などで働いている」が15.8%となっています。

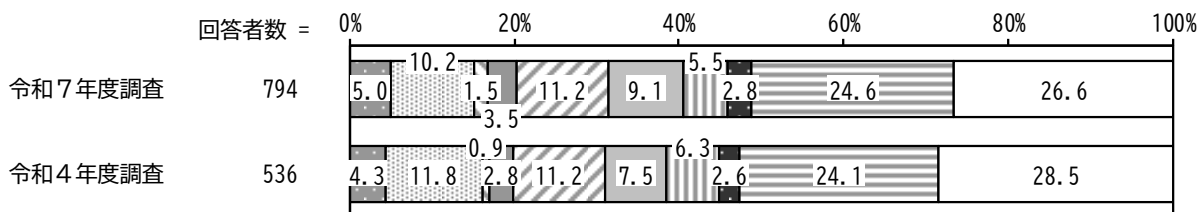


問9 仕事を<sup>こま</sup>する上で<sup>うえ</sup>困っていることはありますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

<困っていること>

「通勤距離・時間、通勤時の混雑が負担に感じる」の割合が11.2%と最も高く、次いで「上司や同僚、取引相手とのコミュニケーションの取り方が難しい」が10.2%となっています。

- 仕事内容が、自分の能力や希望に合っていない
- ▨ 上司や同僚、取引相手とのコミュニケーションの取り方が難しい
- ▩ 職場のバリアフリー化が不十分である
- 勤務時間（短時間勤務やシフト）などの配慮が不十分である
- ▨ 通勤距離・時間、通勤時の混雑が負担に感じる
- ▩ 定期的な通院や健康管理との両立が難しい
- ▩ 職場に相談できる人がいない
- 職場のことを相談する人や場所がない
- その他
- 無回答

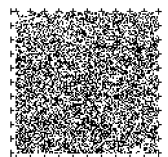
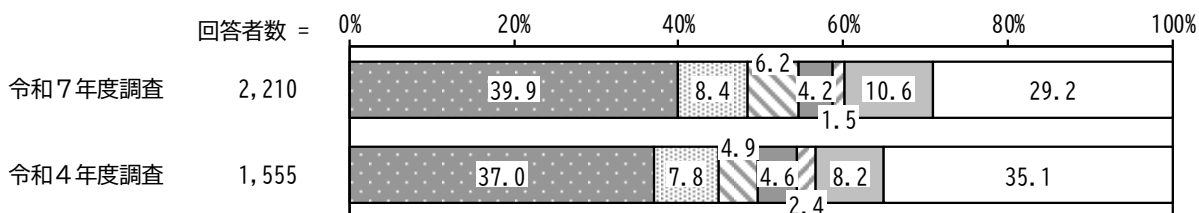


(3) 社会参加やコミュニケーション

問15 社会参加の支援サービスについてどのような要望がありますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

「利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）」の割合が39.9%と最も高くなっています。

- 利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）
- ▨ 利用できる時間帯を増やしてほしい
- ▩ ヘルパー事業所が増えてほしい
- ヘルパーの質を上げてほしい
- ▨ 手話通訳や点訳・音訳などができる人が増えてほしい
- その他
- 無回答

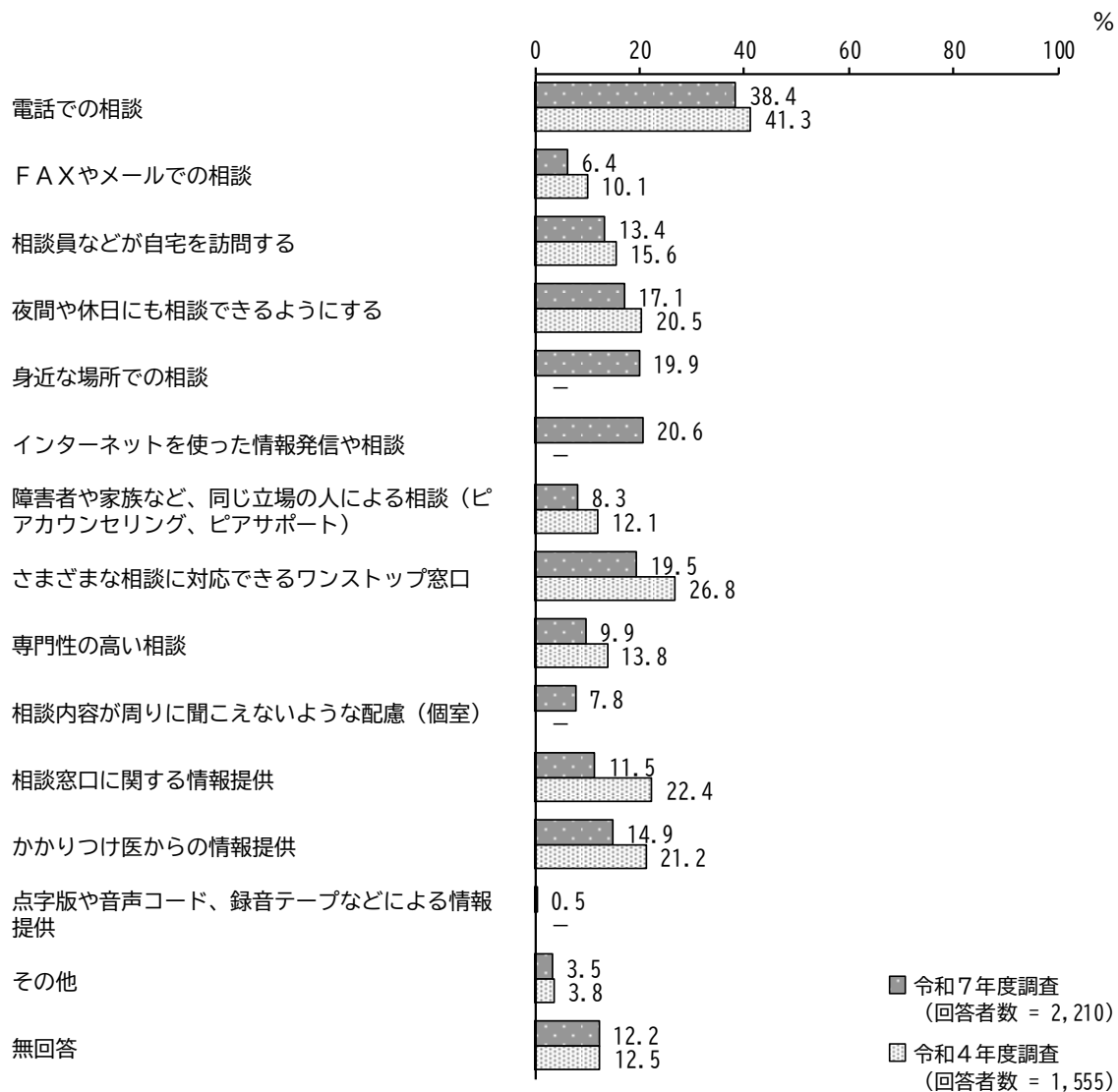


## (4) 情報・相談先

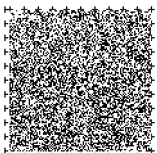
問19 福祉サービスの利用について、区役所などへ相談しやすくするには、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「電話での相談」の割合が38.4%と最も高く、次いで「インターネットを使った情報発信や相談」が20.6%、「身近な場所での相談」が19.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」「相談窓口に関する情報提供」「かかりつけ医からの情報提供」が減少しています。



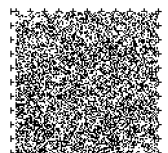
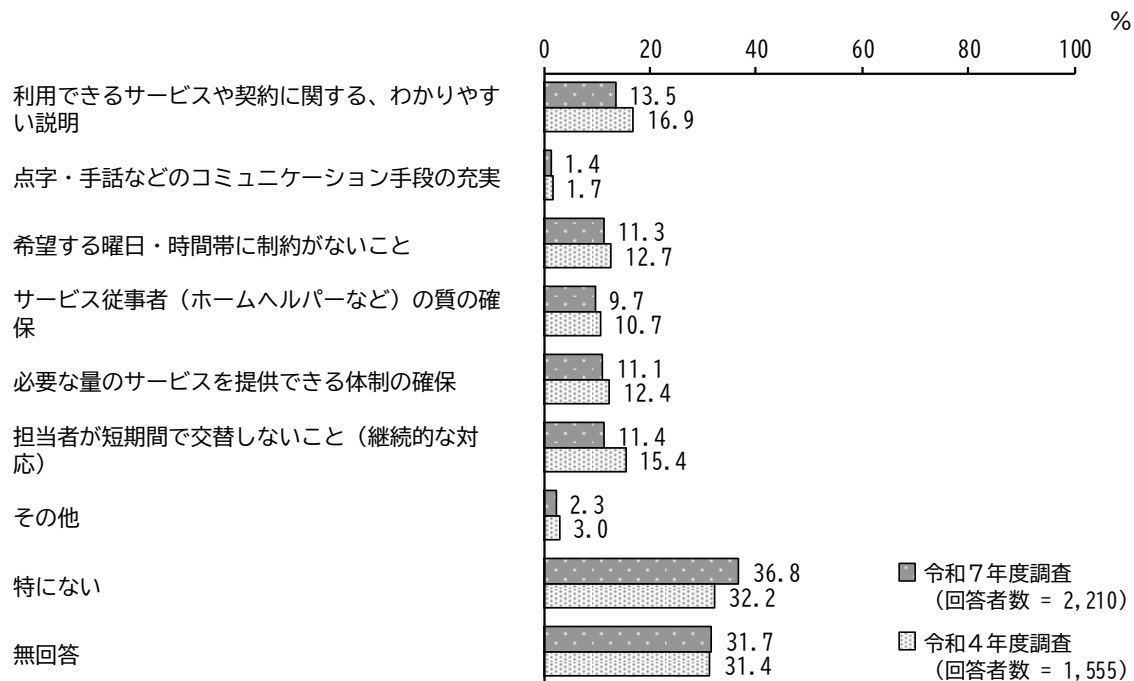
※回答項目の「身近な場所での相談」、「インターネットを使った情報発信や相談」、「相談内容が周りに聞こえないような配慮（個室）」、「点字版や音声コード、録音テープなどによる情報提供」は、今回の調査で新たに追加した選択肢です。



## (5) サービスの利用

問25 現在利用しているサービス提供事業者に対して、どのようなことを望んでいますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

「利用できるサービスや契約に関する、わかりやすい説明」の割合が13.5%と最も高く、  
 次に「担当者が短期間で交替しないこと（継続的な対応）」が11.4%、「希望する曜日・時間帯  
 に制約がないこと」が11.3%となっています。

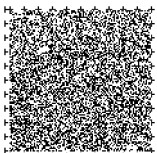
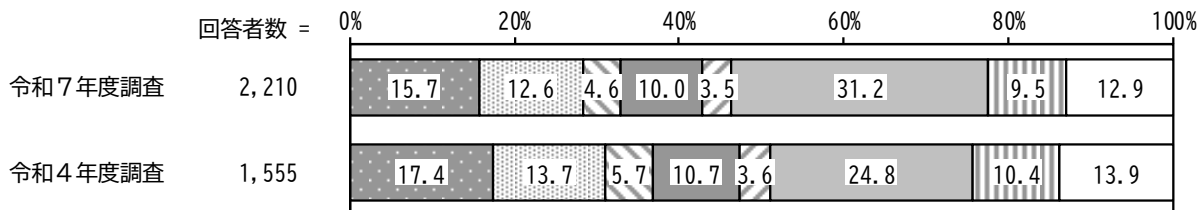


## (6) 暮らし

問30 あなた（ご本人）は、将来どのような暮らしを希望していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。※今の暮らしを続けていきたい方は、今の状況をお答えください。

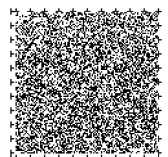
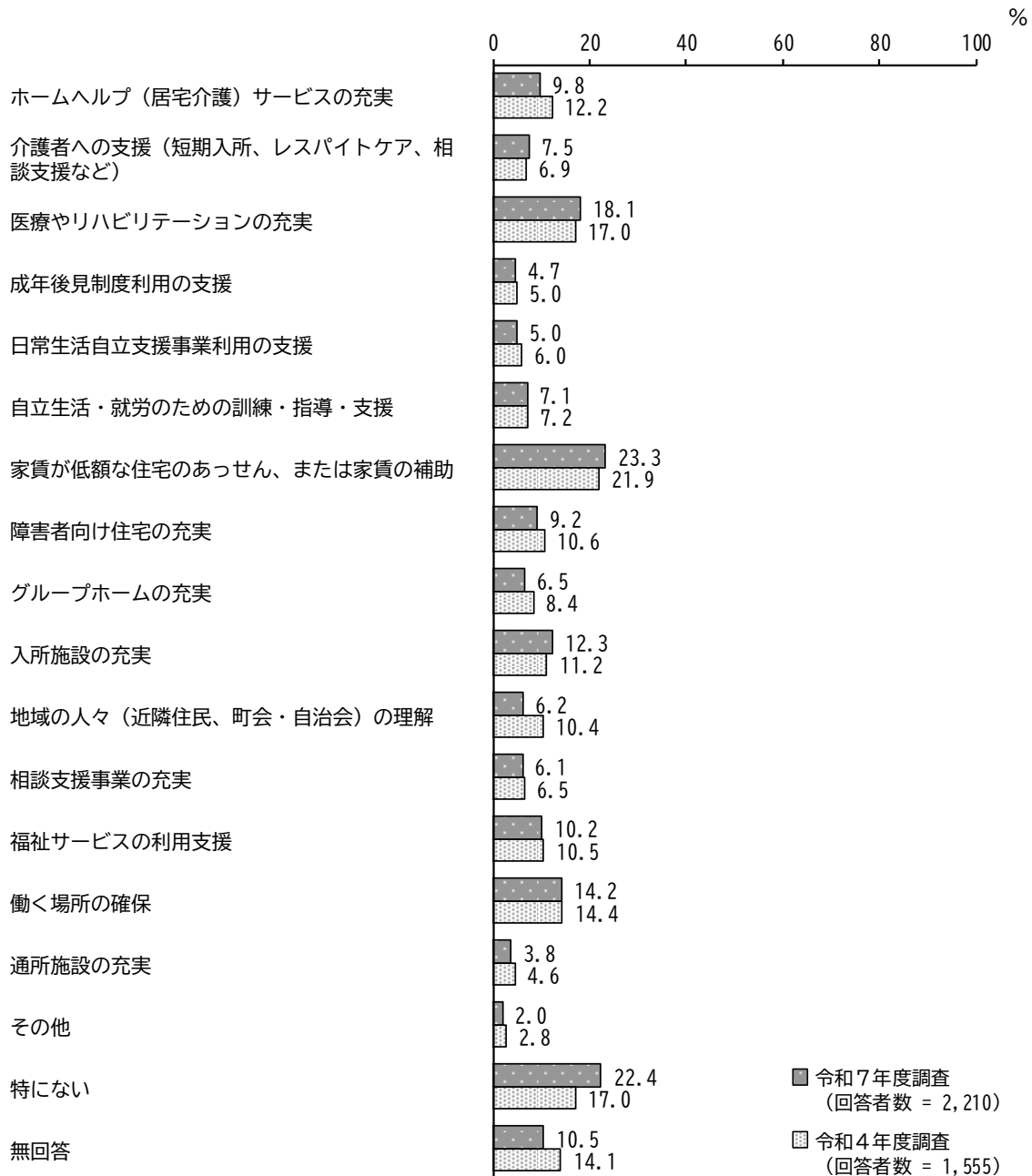
「親元から独立した生活（ひとり暮らし、結婚など）」の割合が15.7%と最も高く、次いで「親や親族のもとでの生活」が12.6%、「区内に施設があれば、入所施設での生活」が10.0%となっています。

- 親元から独立した生活（ひとり暮らし、結婚など）
- 親や親族のもとでの生活
- グループホームでの生活
- 区内に施設があれば、入所施設での生活
- 区外でも良いので、入所施設での生活
- わからない
- その他
- 無回答



問31 あなた（ご本人）が希望する暮らしをするために必要なことは、何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

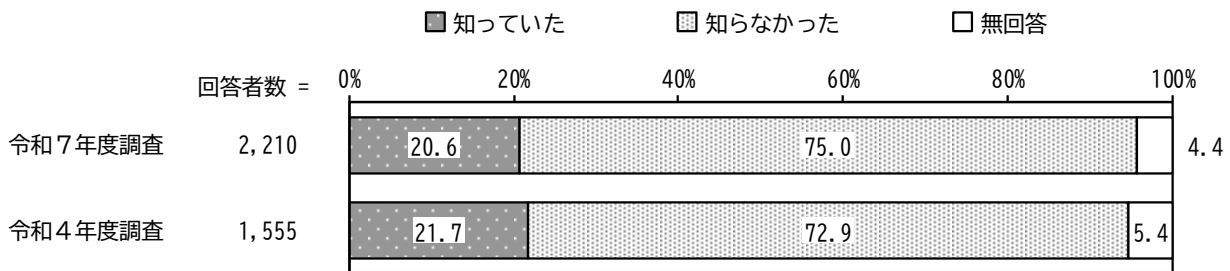
「家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助」の割合が23.3%と最も高く、次いで「医療やリハビリテーションの充実」が18.1%、「働く場所の確保」が14.2%となっています。



## (7) 災害時の支援

問33 区では、災害が起きた時に避難することが難しい方、希望する方の情報を掲載した「避難行動要支援者名簿」を作成し、区役所や消防署、警察などで共有して災害時に役立てることとしています。この名簿について知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

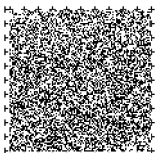
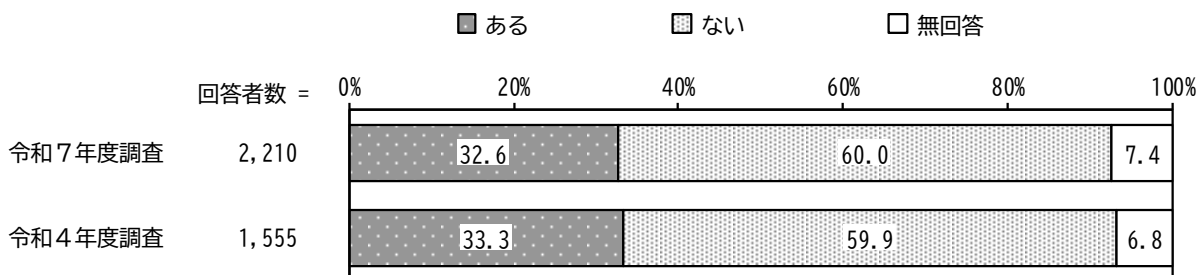
「知っていた」の割合が20.6%、「知らなかった」が75.0%となっています。



## (8) 障害者施策

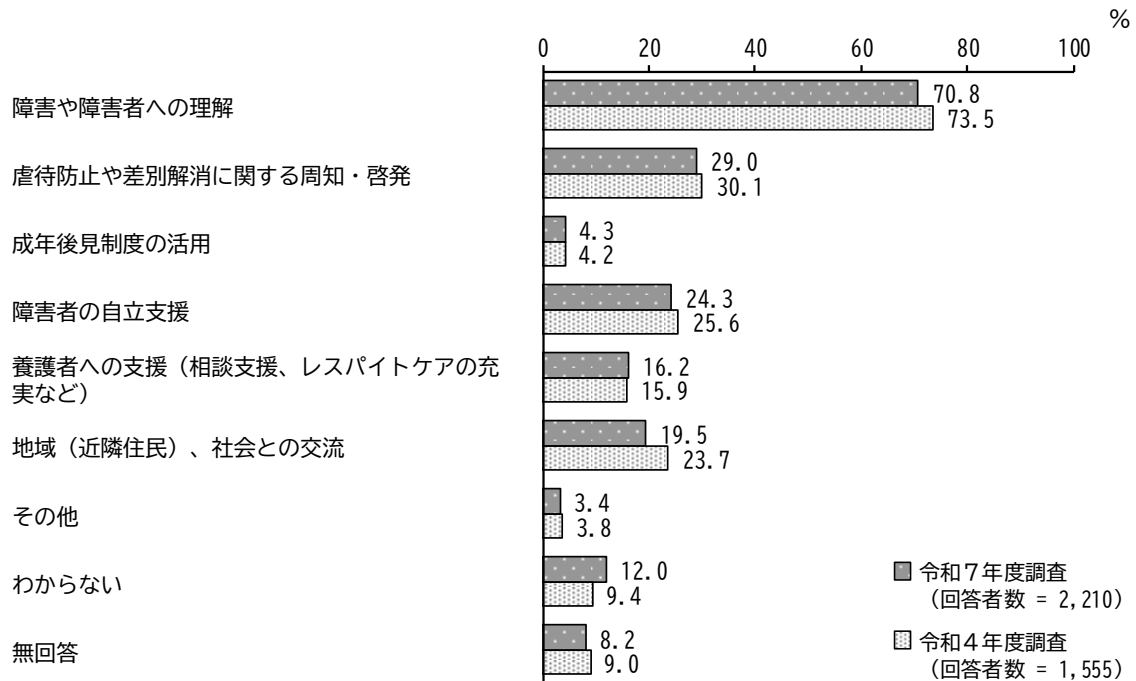
問40 あなた（ご本人）は、これまでに差別をされたと感じた経験はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「ある」の割合が32.6%、「ない」が60.0%となっています。



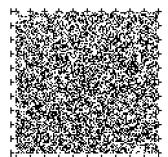
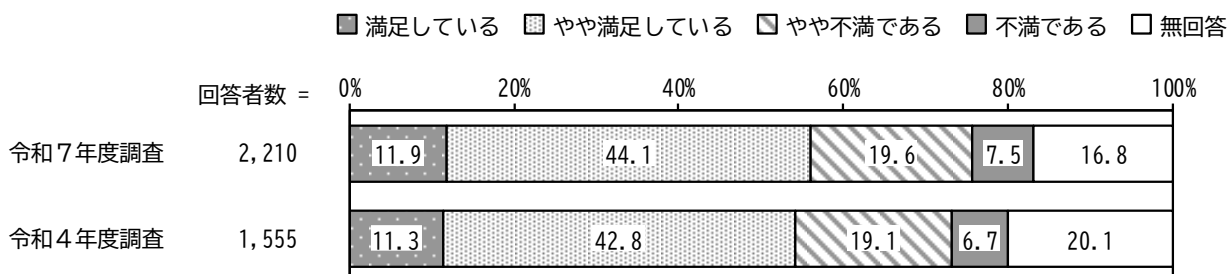
問41 障害者への虐待や差別を防ぐには、何が重要だと思えますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「障害や障害者への理解」の割合が70.8%と最も高く、次いで「虐待防止や差別解消に関する周知・啓発」が29.0%、「障害者の自立支援」が24.3%となっています。



問45 あなた（ご本人）は、障害者支援施策に満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

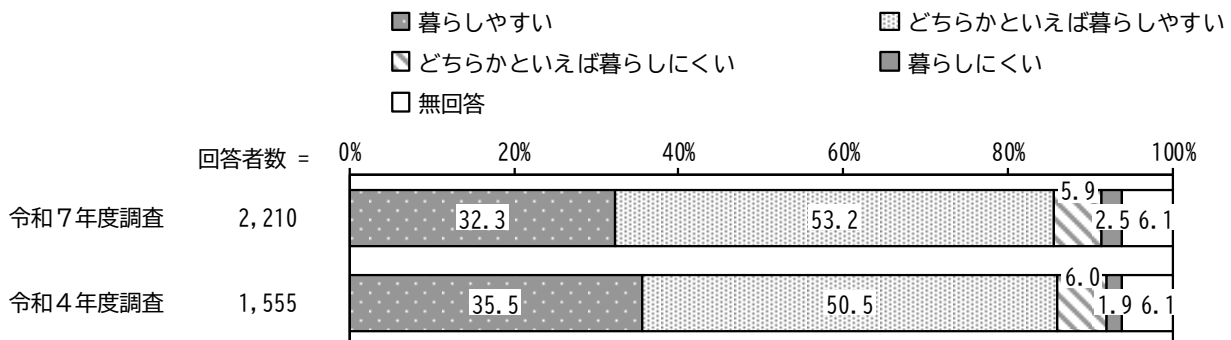
「満足している」「やや満足している」を合わせた“満足している”の割合が56.0%、「やや不満である」「不満である」を合わせた“不満である”が27.1%となっています。



## (9) 共生社会 きょうせいしゃかい

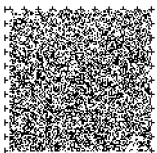
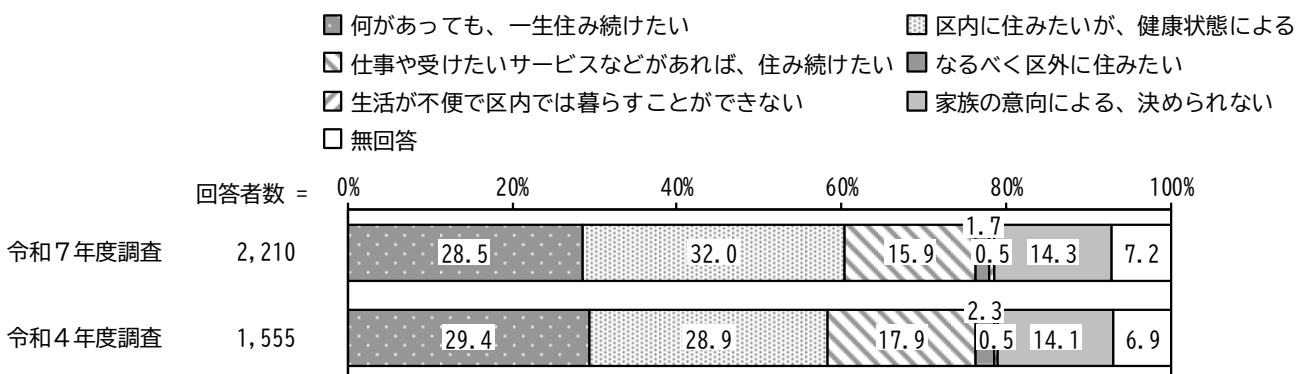
問51 あなた（ご本人）にとって、江東区での暮らしはいかがですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた「暮らしやすい」の割合が85.5%、「どちらかといえば暮らしにくい」「暮らしにくい」を合わせた「暮らしにくい」が8.4%となっています。



問52 あなた（ご本人）は、江東区に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

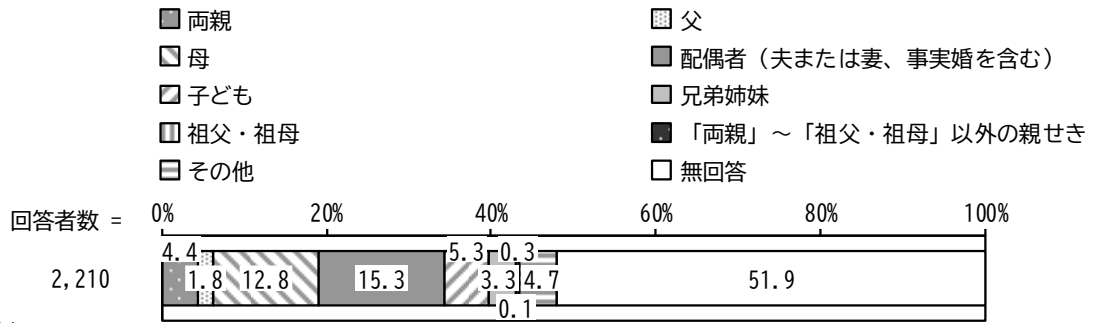
「区内に住みたいが、健康状態による」の割合が32.0%と最も高く、次いで「何があっても、一生住み続けたい」が28.5%、「仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい」が15.9%となっています。



(10) 介護者

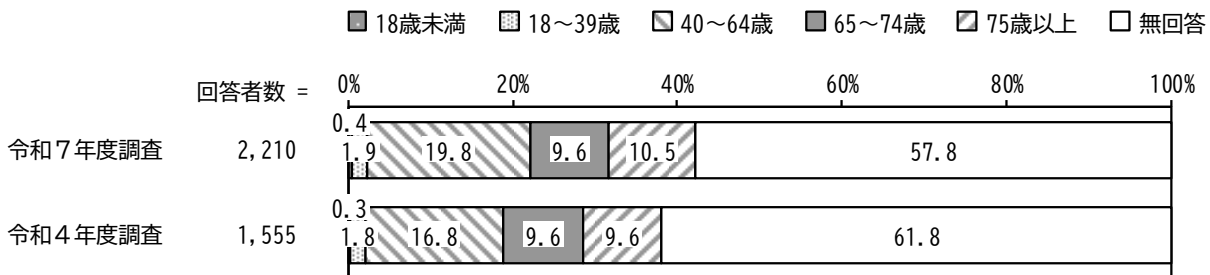
問59 主たる介護者の方の続柄（ご本人様から見た関係）と年齢、1日の平均的な介護の時間数について、お聞きします。続柄は、あてはまるもの1つに○をつけてください。年齢と1日の平均的な介護の時間数は、それぞれ記入してください。

「配偶者」の割合が15.3%と最も高く、次いで「母」が12.8%となっています。



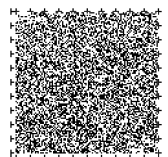
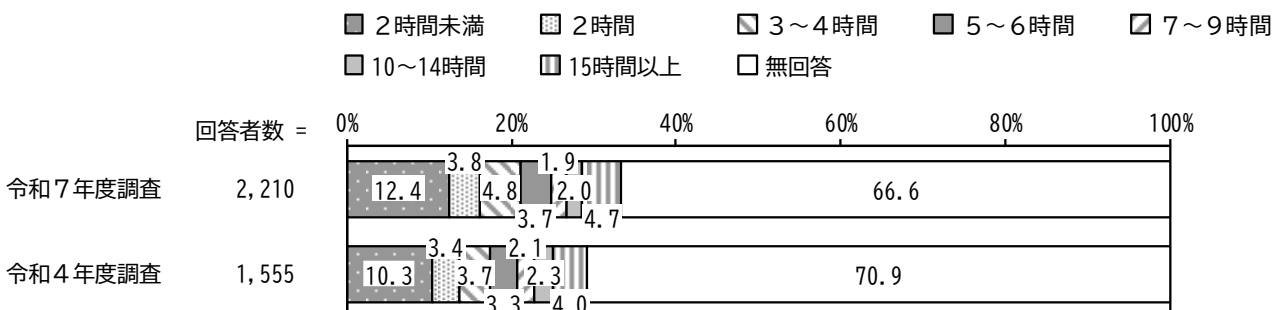
ア) 介護者の年齢

「40～64歳」の割合が19.8%と最も高く、次いで「75歳以上」が10.5%となっています。



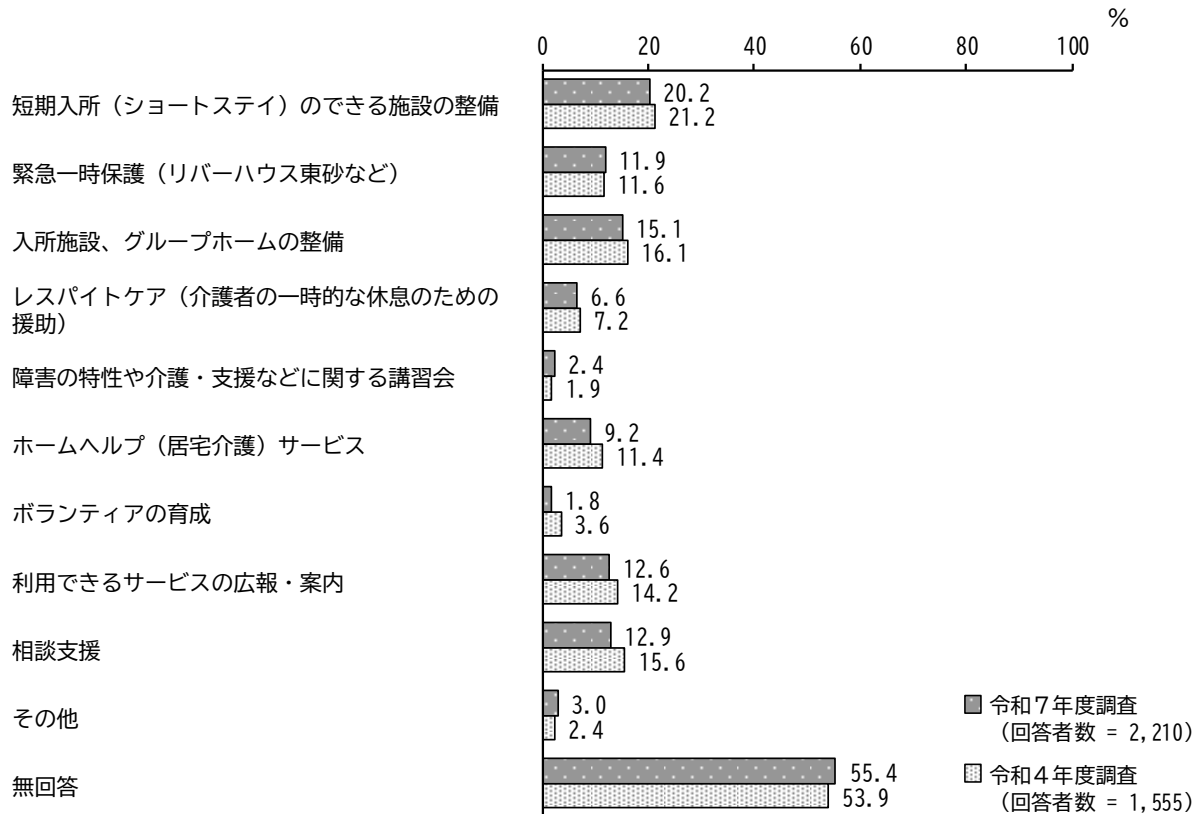
イ) 1日の介護時間

「2時間未満」の割合が12.4%と最も高くなっています。

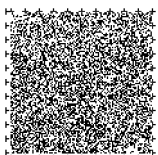


問62 家族で介護する方への支援策として、今後充実してほしいことは何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「短期入所（ショートステイ）のできる施設の整備」の割合が20.2%と最も高く、次いで「入所施設、グループホームの整備」が15.1%、「相談支援」が12.9%となっています。



※回答項目の「障害の特性や介護・支援などに関する講習会」は、令和4年度調査では「障害の特性や介護（介助）などに関する講習会」となっていました。

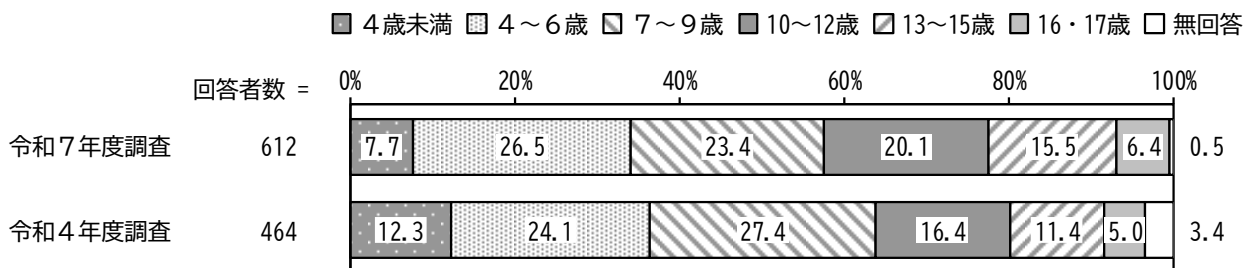


## 2 しょうがいじ 障害児

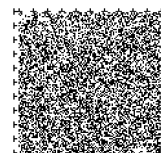
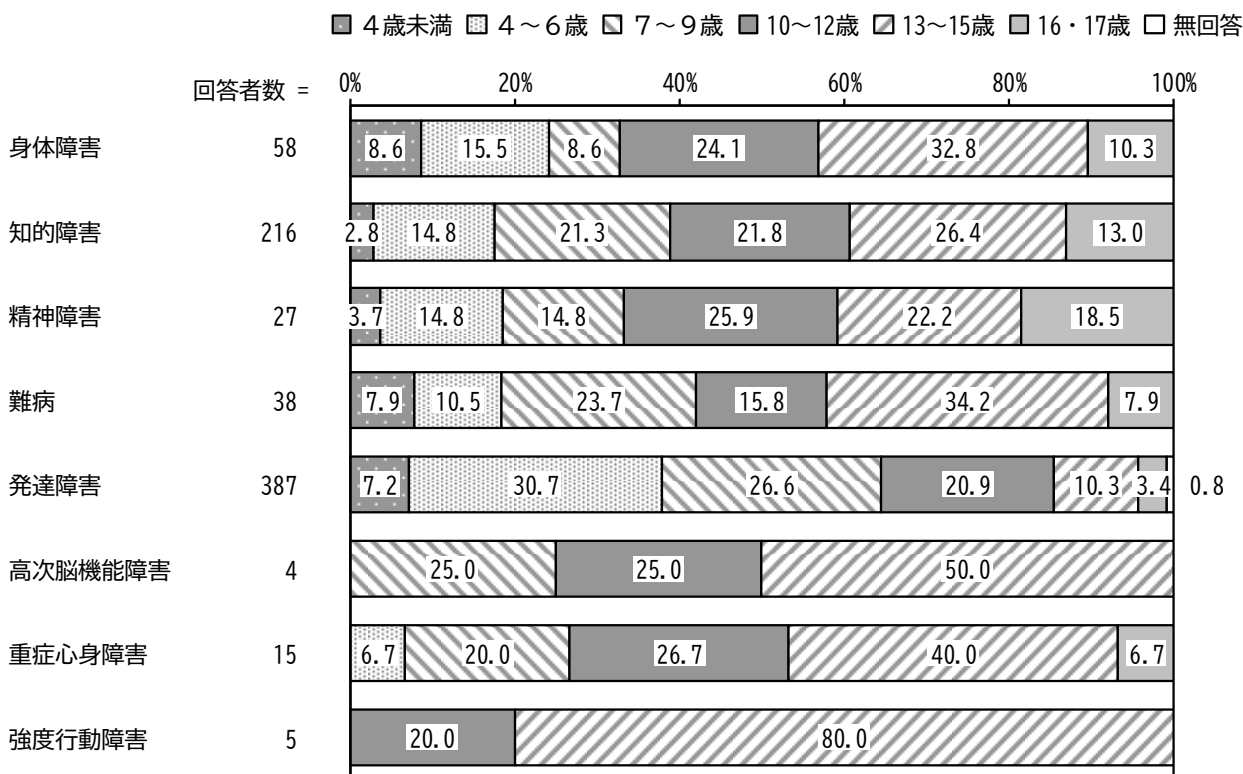
### (1) お子様の状況

問1 お子様の年齢は、何歳ですか。令和7年9月1日現在の年齢を記入してください。

「4～6歳」の割合が26.5%と最も高く、次いで「7～9歳」が23.4%、「10～12歳」が20.1%となっています。

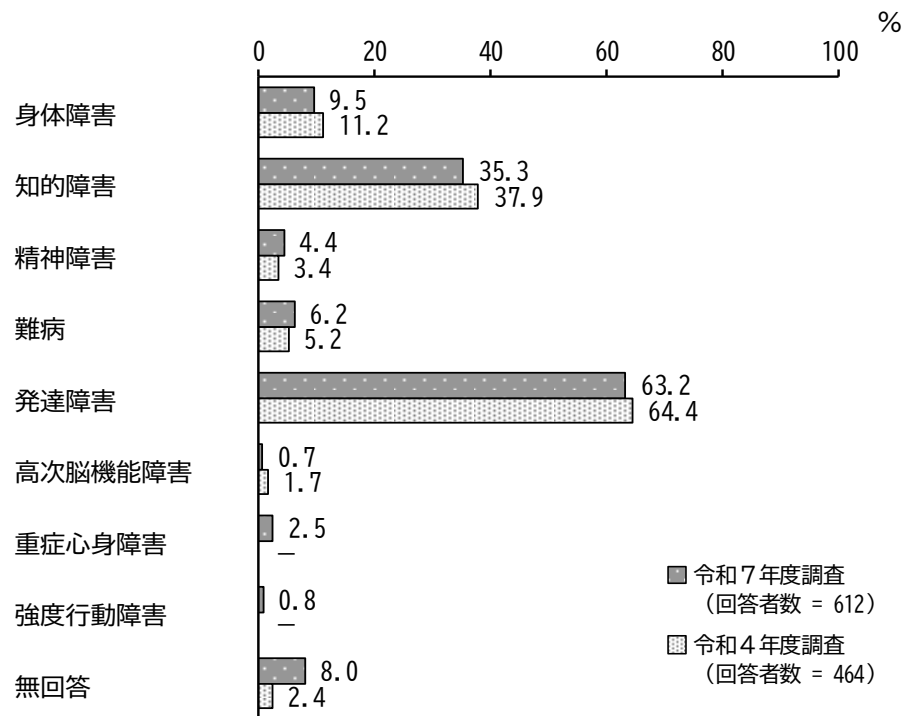


### 【障害種別】



問2 お子様の障害について、お聞きします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「発達障害」の割合が63.2%と最も高く、次いで「知的障害」が35.3%となっています。

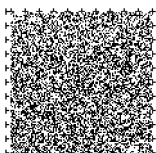
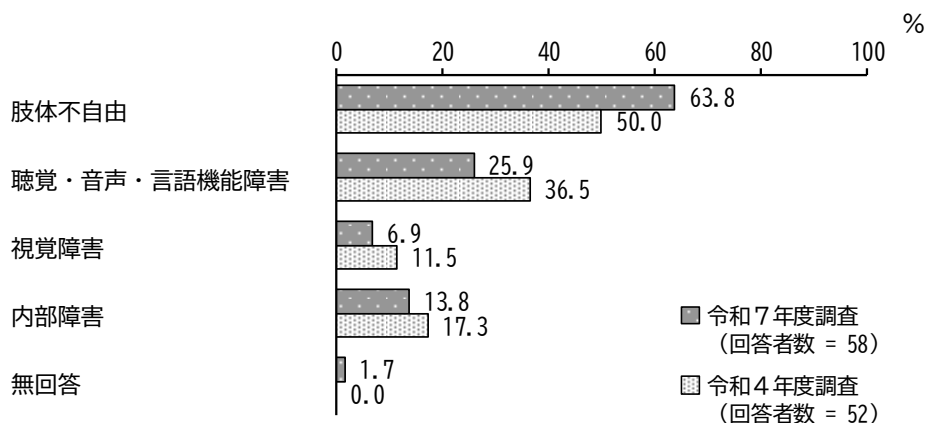


※回答項目の「重症心身障害」、「強度行動障害」は、今回の調査で新たに追加した選択肢です。

### 身体障害の内訳

「肢体不自由」の割合が63.8%と最も高く、次いで「聴覚・音声・言語機能障害」が25.9%、「内部障害」が13.8%となっています。

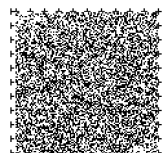
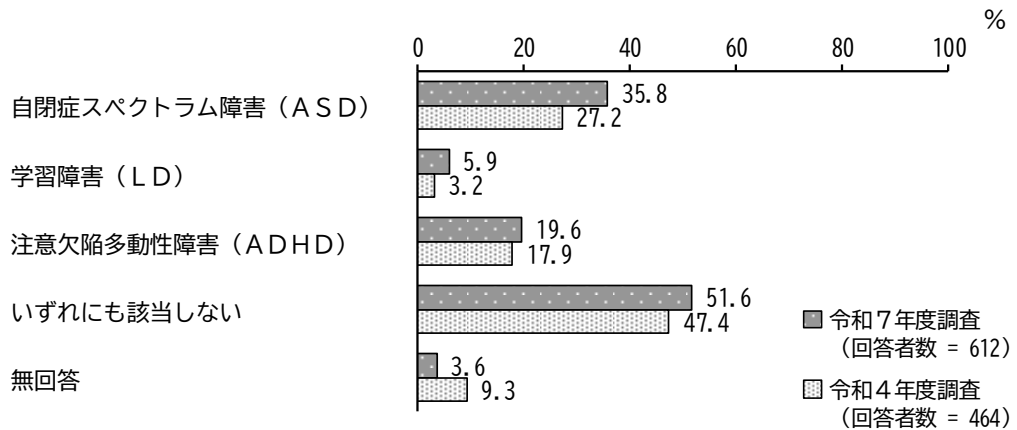
令和4年度調査と比較すると、「肢体不自由」が増加しています。



問4 お子様は、次のような診断を受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「自閉症スペクトラム障害（ASD）」の割合が 35.8%、「学習障害（LD）」が 5.9%、「注意欠陥多動性障害（ADHD）」が 19.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「自閉症スペクトラム障害（ASD）」が増加しています。

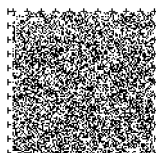
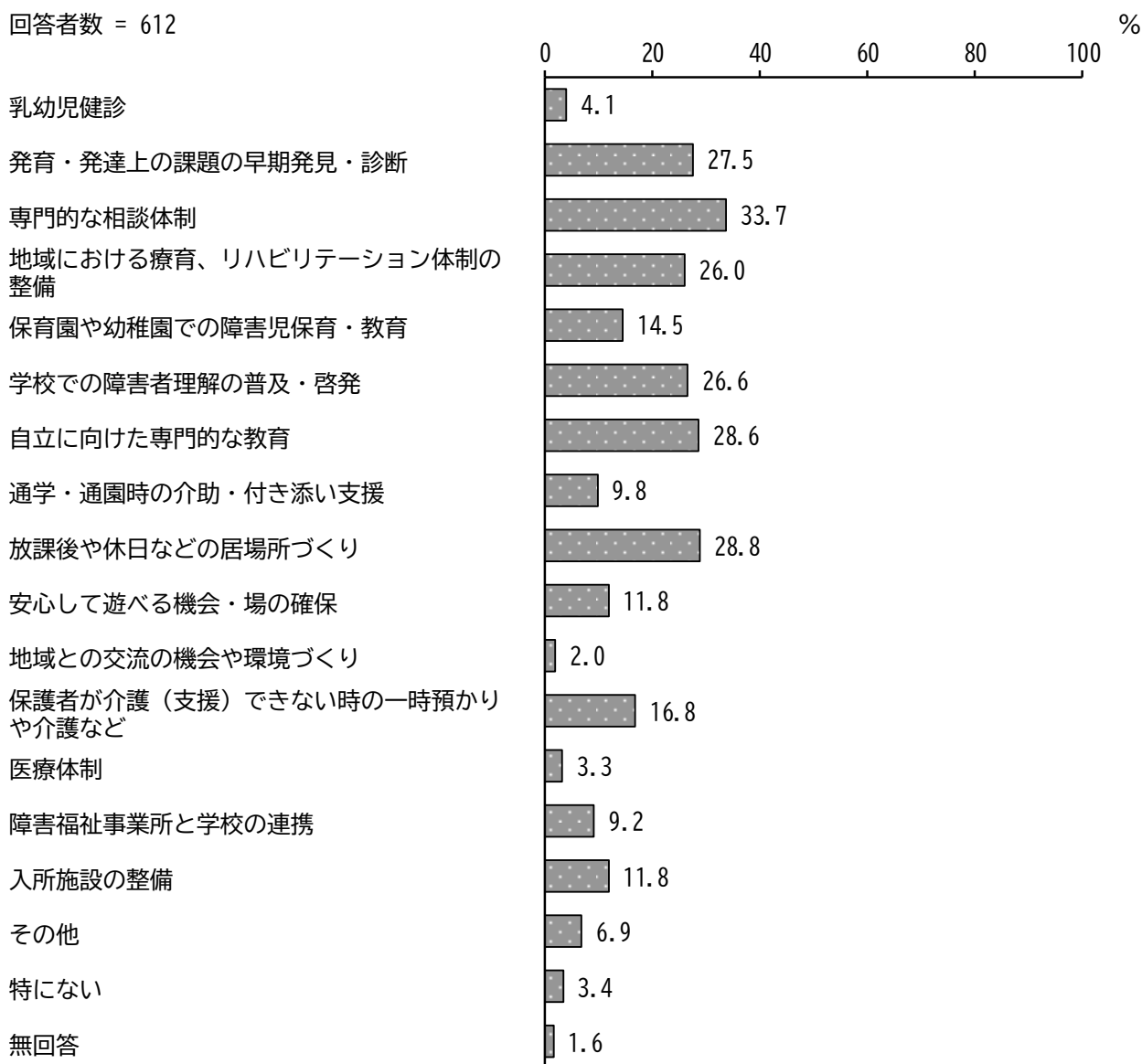


## (2) 仕事や学校生活

問10 療育や支援で、さらに充実させるべきだと思うことはありますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「専門的な相談体制」の割合が33.7%と最も高く、次いで「放課後や休日などの居場所づくり」が28.8%、「自立に向けた専門的な教育」が28.6%となっています。

回答者数 = 612



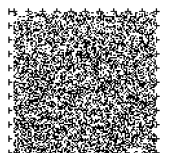
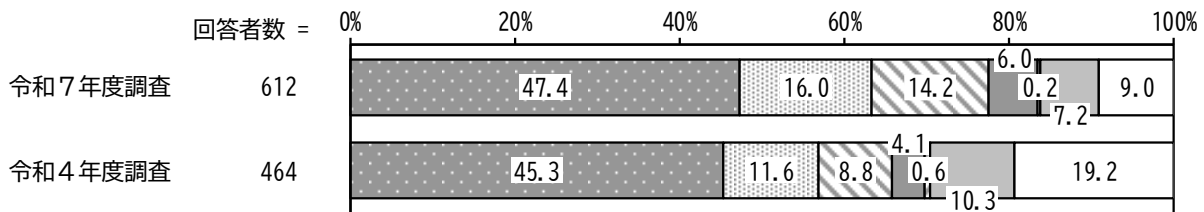
### (3) 社会参加やコミュニケーション

問12 社会参加の支援サービスについてどのような要望がありますか。もっともあてはまるものの1つに○をつけてください。

「利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）」の割合が47.4%と最も高く、次いで「利用できる時間帯を増やしてほしい」が16.0%、「ヘルパー事業所が増えてほしい」が14.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「ヘルパー事業所が増えてほしい」が増加しています。

- 利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）
- 利用できる時間帯を増やしてほしい
- ヘルパー事業所が増えてほしい
- ヘルパーの質を上げてほしい
- 手話通訳や点訳・音訳などができる人が増えてほしい
- その他
- 無回答

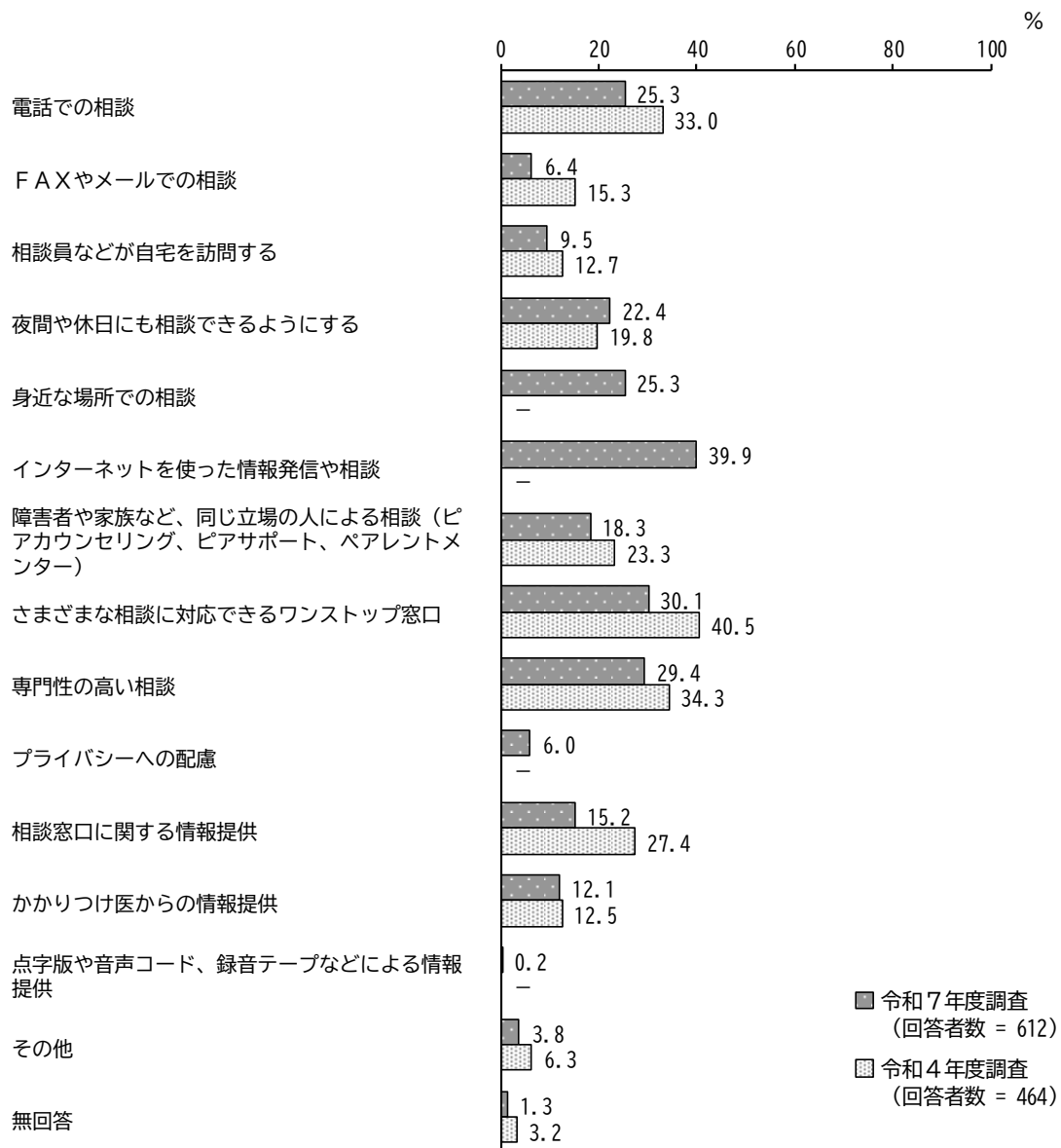


## (4) 情報・相談先

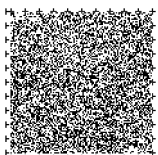
問16 福祉サービスの利用について、区役所などへ相談しやすくするには、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「インターネットを使った情報発信や相談」の割合が39.9%と最も高く、次いで「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」が30.1%、「専門性の高い相談」が29.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「電話での相談」「FAXやメールでの相談」「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」「相談窓口に関する情報提供」が減少しています。



※回答項目の「身近な場所での相談」、「インターネットを使った情報発信や相談」、「プライバシーへの配慮」、「点字版や音声コード、録音テープなどによる情報提供」は今回の調査で新たに追加した選択肢です。

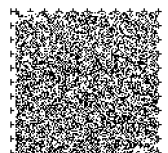
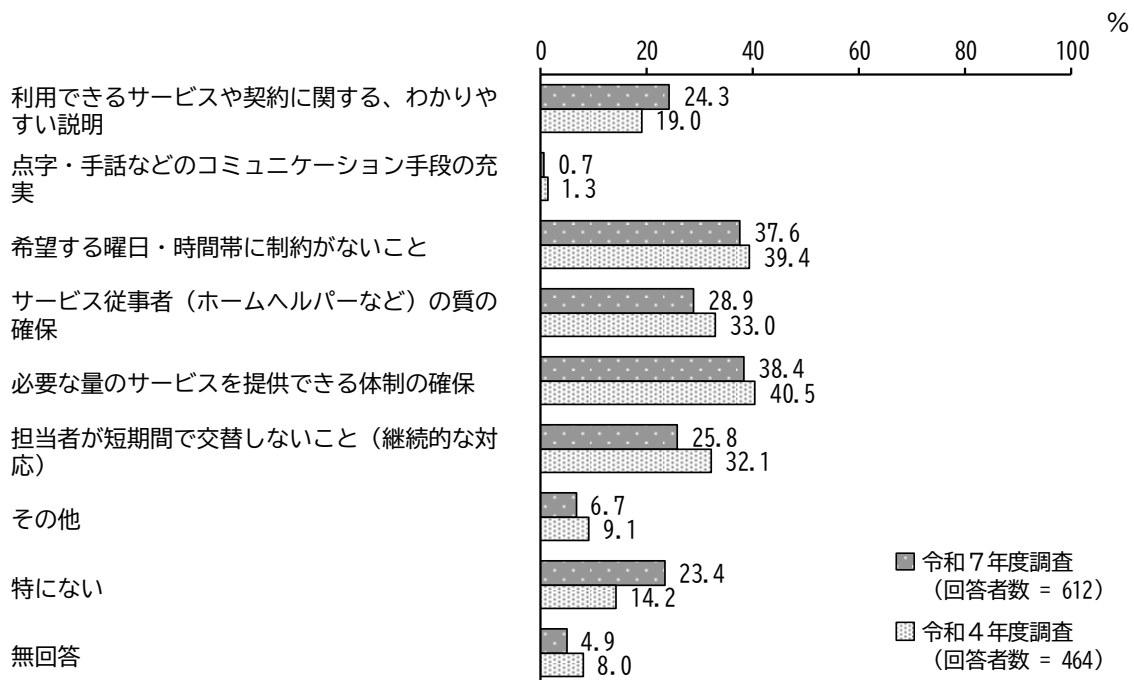


## (5) サービスの利用

問21 現在利用しているサービス提供事業者に対して、どのようなことを望んでいますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

「必要な量のサービスを提供できる体制の確保」の割合が38.4%と最も高く、次いで「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」が37.6%、「サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保」が28.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「利用できるサービスや契約に関する、わかりやすい説明」が増加しています。一方、「担当者が短期間で交替しないこと（継続的な対応）」が減少しています。

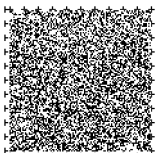
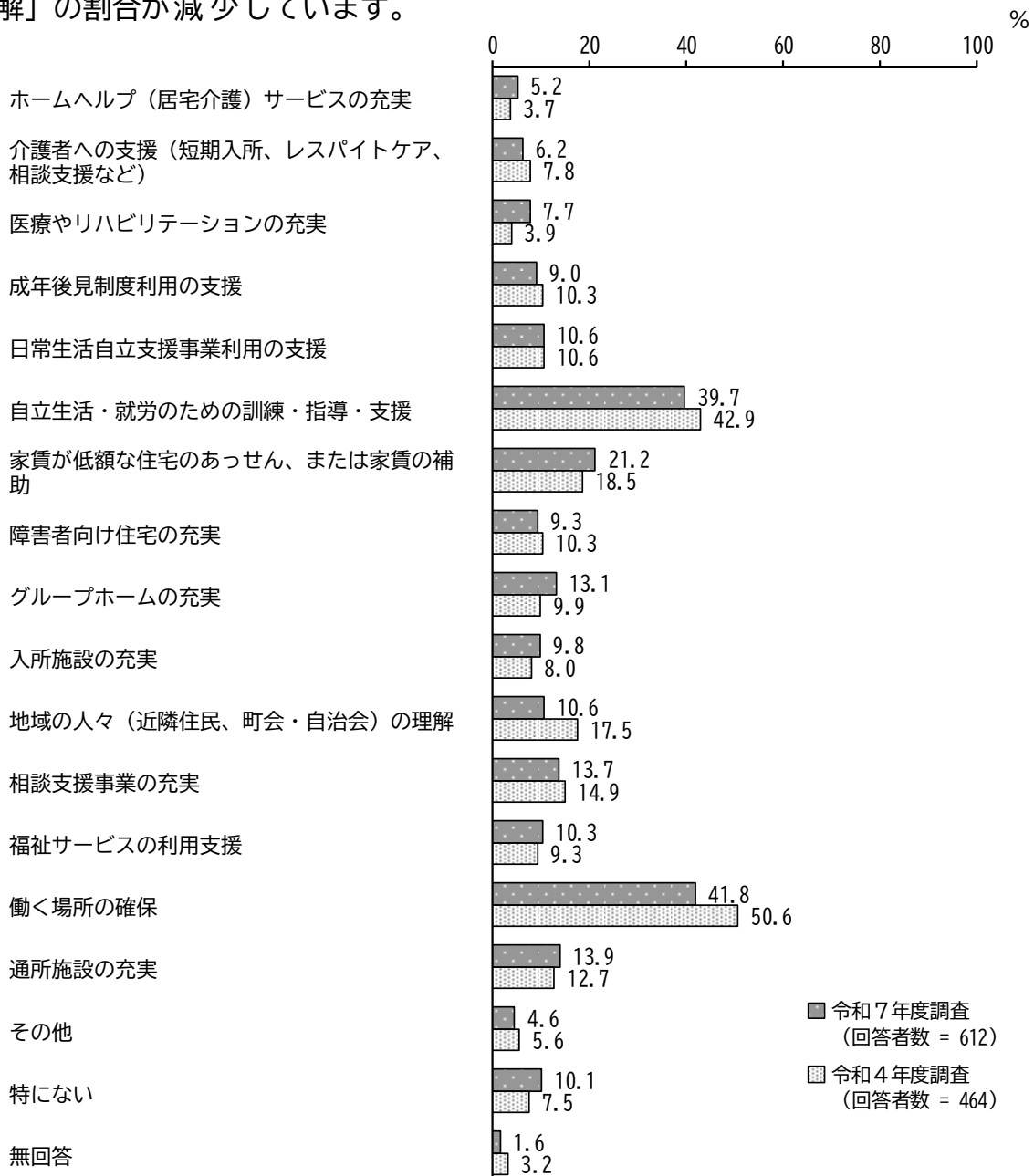


## (6) 暮らし

問25 お子様が将来、自立した生活を送ることができるようになるために必要なことは、何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「働く場所の確保」の割合が41.8%と最も高く、次いで「自立生活・就労のための訓練・指導・支援」が39.7%、「家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助」が21.2%となっています。

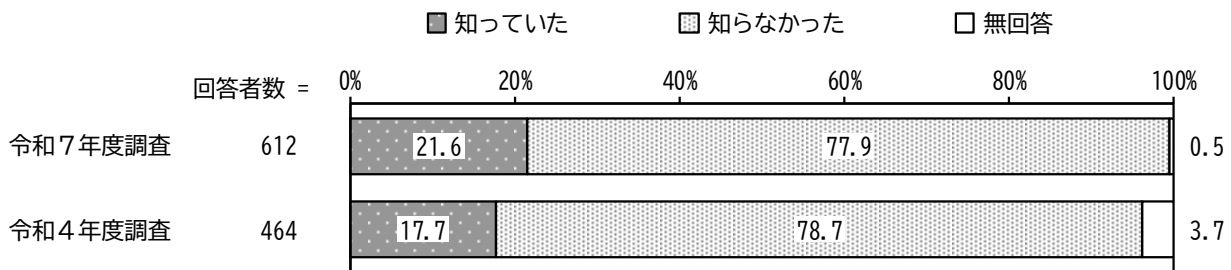
令和4年度調査と比較すると、「働く場所の確保」「地域の人々（近隣住民、町会・自治会）の理解」の割合が減少しています。



## (7) 災害時の支援

問28 区では、災害が起きた時に避難することが難しい方、希望する方の情報を掲載した「避難行動要支援者名簿」を作成し、区役所や消防署、警察などで共有して災害時に役立てることとしています。この名簿について知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知っていた」の割合が21.6%、「知らなかった」が77.9%となっています。

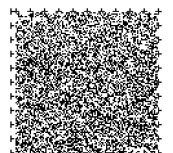
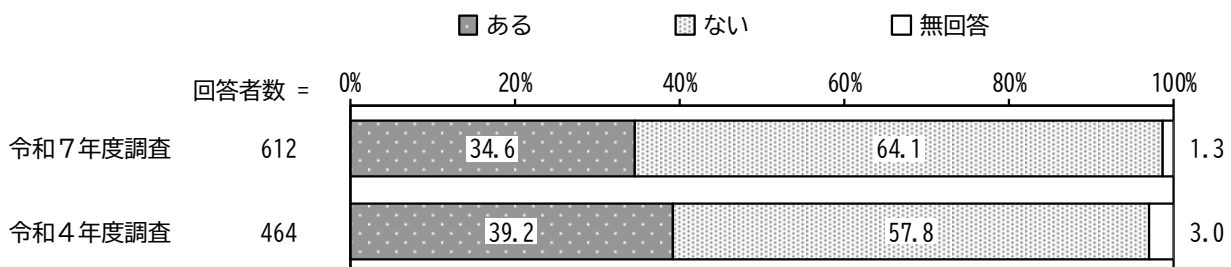


## (8) 障害者施策

問35 これまでに差別をされたと感じた経験はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

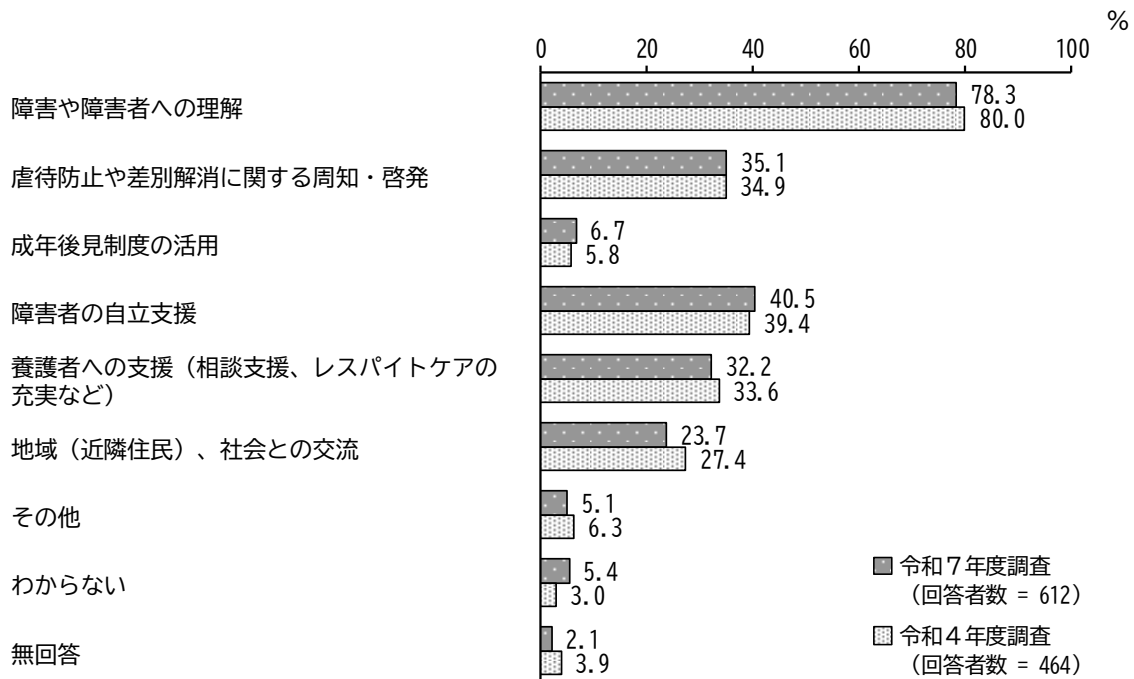
「ある」の割合が34.6%、「ない」が64.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「ない」が増加しています。



問36 障害者への虐待や差別を防ぐには、何が重要だと思いますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

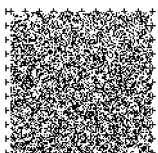
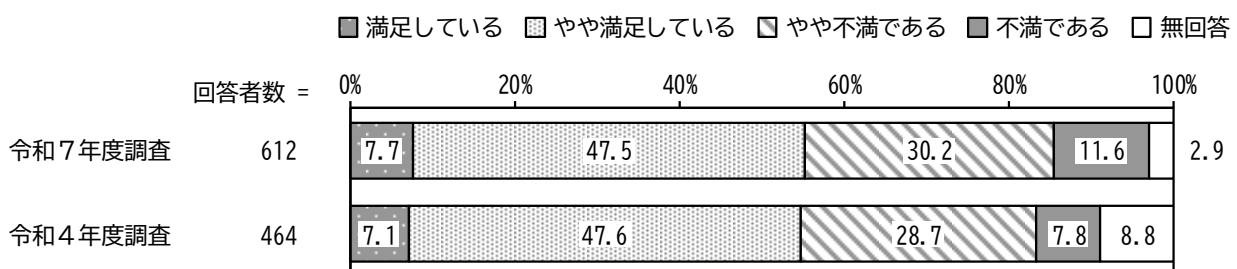
「障害や障害者への理解」の割合が78.3%と最も高く、次いで「障害者の自立支援」が40.5%、「虐待防止や差別解消に関する周知・啓発」が35.1%となっています。



問40 あなたは、障害者（児）支援施策に満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「満足している」「やや満足している」を合わせた“満足している”の割合が55.2%、「やや不満である」「不満である」を合わせた“不満である”が41.8%となっています。

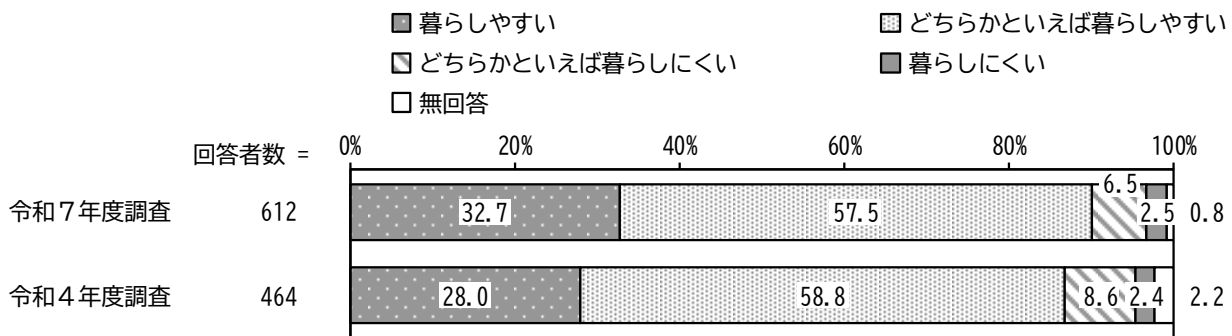
令和4年度調査と比較すると、“不満である”が増加しています。



## (9) 共生社会 きょうせいしゃかい

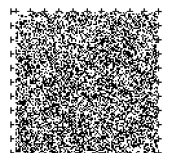
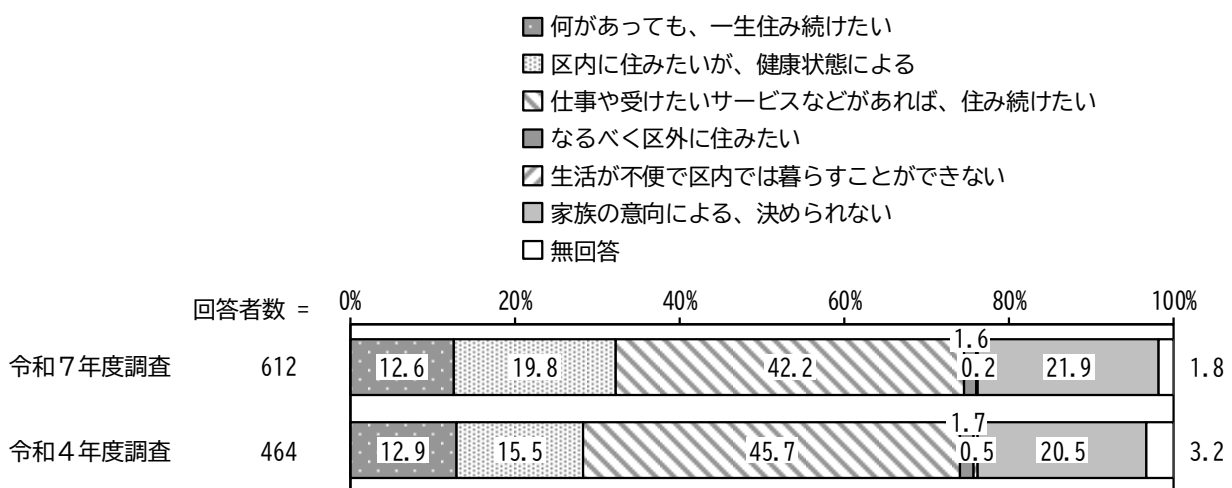
問46 あなたにとって、江東区での暮らしはいかがですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「どちらかといえば暮らしやすい」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「暮らしやすい」が 32.7%となっています。



問47 あなたは、江東区に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「家族の意向による、決められない」が 21.9%、「区内に住みたいが、健康状態による」が 19.8%となっています。

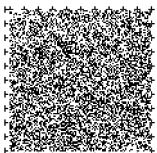
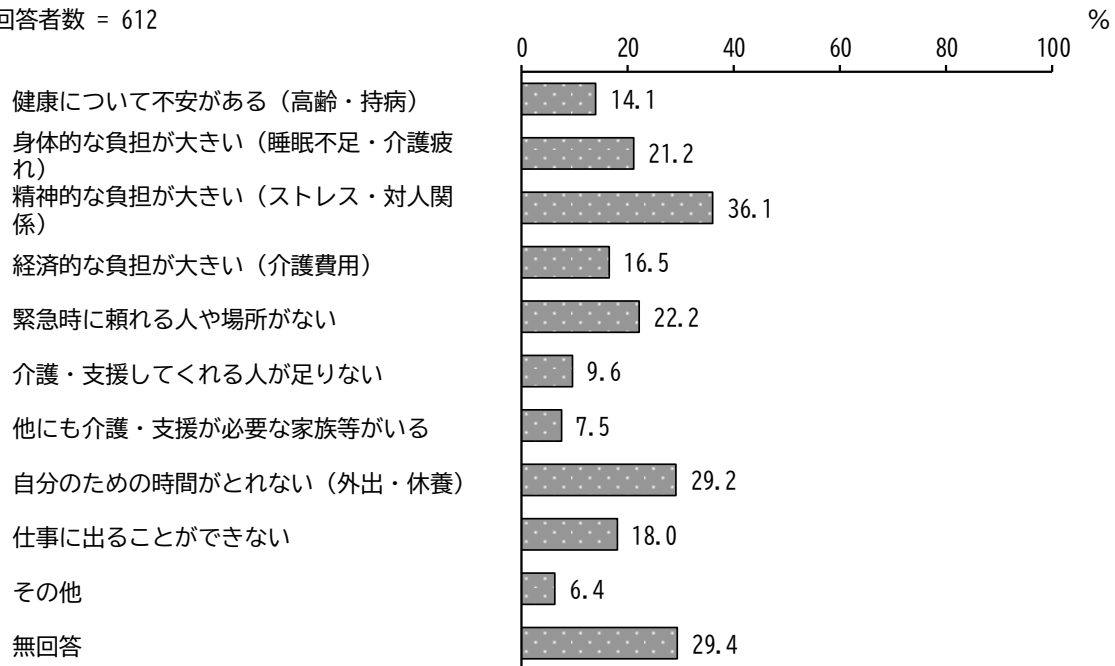


## (10) 介護者

問54 介護をするにあたり、どのような悩みや不安がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「精神的な負担が大きい(ストレス・対人関係)」の割合が36.1%と最も高く、次いで「自分のための時間がとれない(外出・休養)」が29.2%、「緊急時に頼れる人や場所がない」が22.2%となっています。

回答者数 = 612

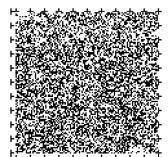
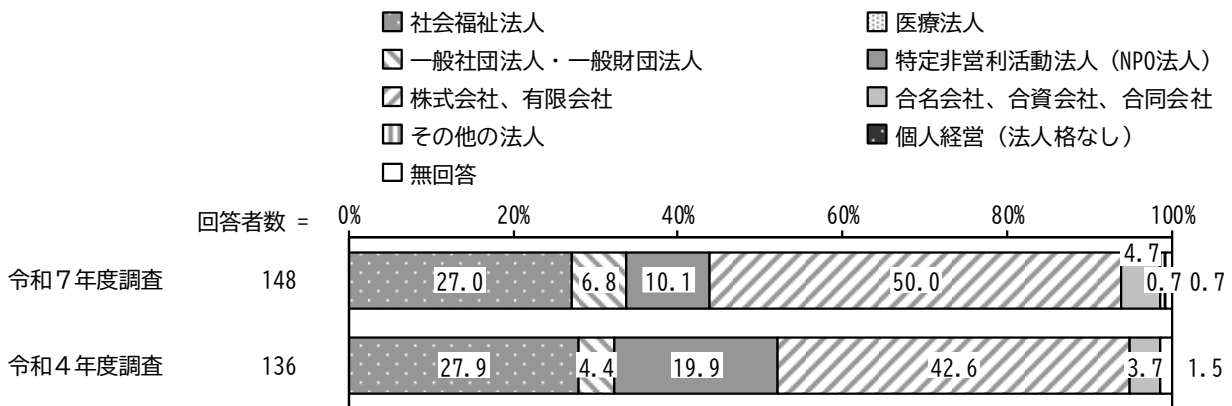


### 3 サービス提供事業所

#### (1) 事業所

問1 貴事業所の経営主体について、お聞きします。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「株式会社、有限会社」の割合が50.0%と最も高く、次いで「社会福祉法人」が27.0%、「特定非営利活動法人（NPO法人）」が10.1%となっています。

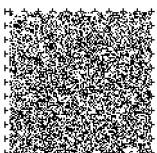
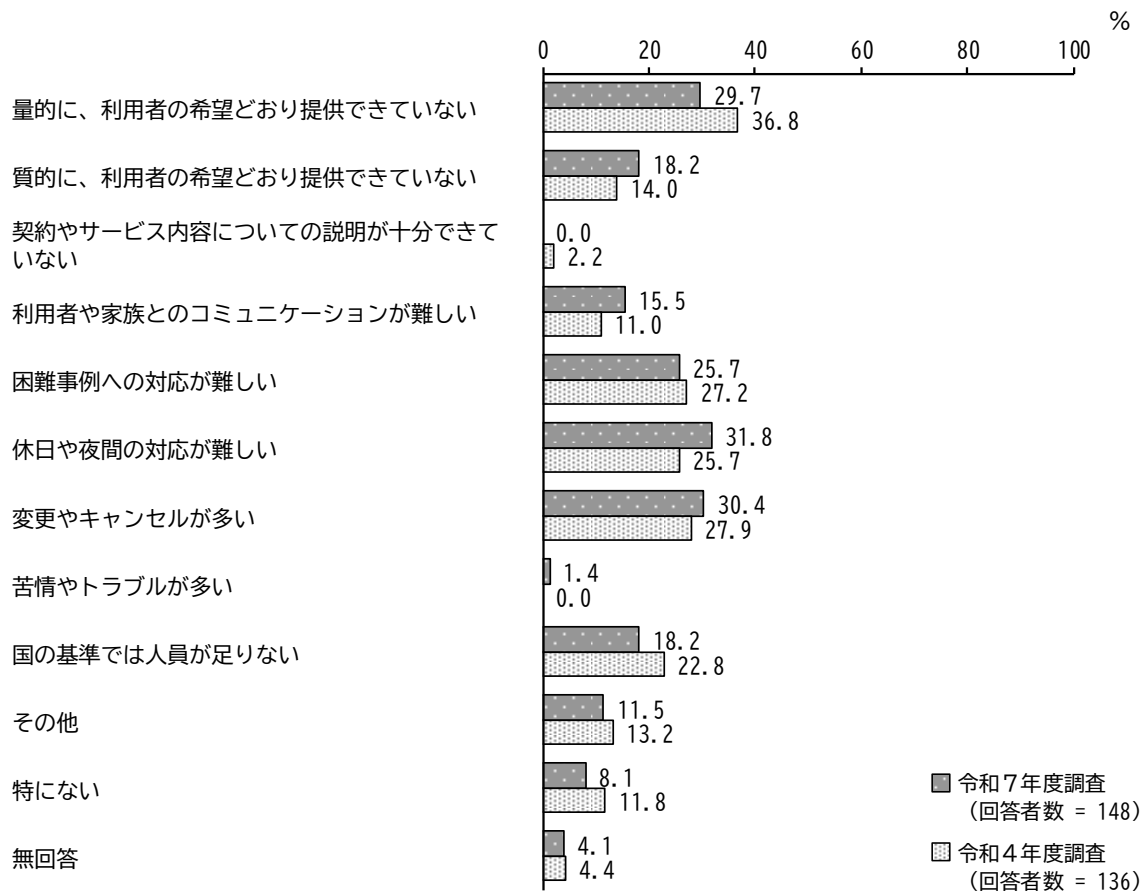


## (2) サービスの提供

問9 貴事業所で、サービスを提供する上で課題となっていることについて、あてはまるものに○をつけてください。(○は3つまで)

「休日や夜間の対応が難しい」の割合が31.8%と最も高く、次いで「変更やキャンセルが多い」が30.4%、「量的に、利用者の希望どおり提供できていない」が29.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「休日や夜間の対応が難しい」が増加しています。

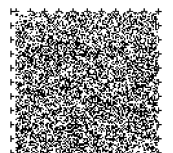
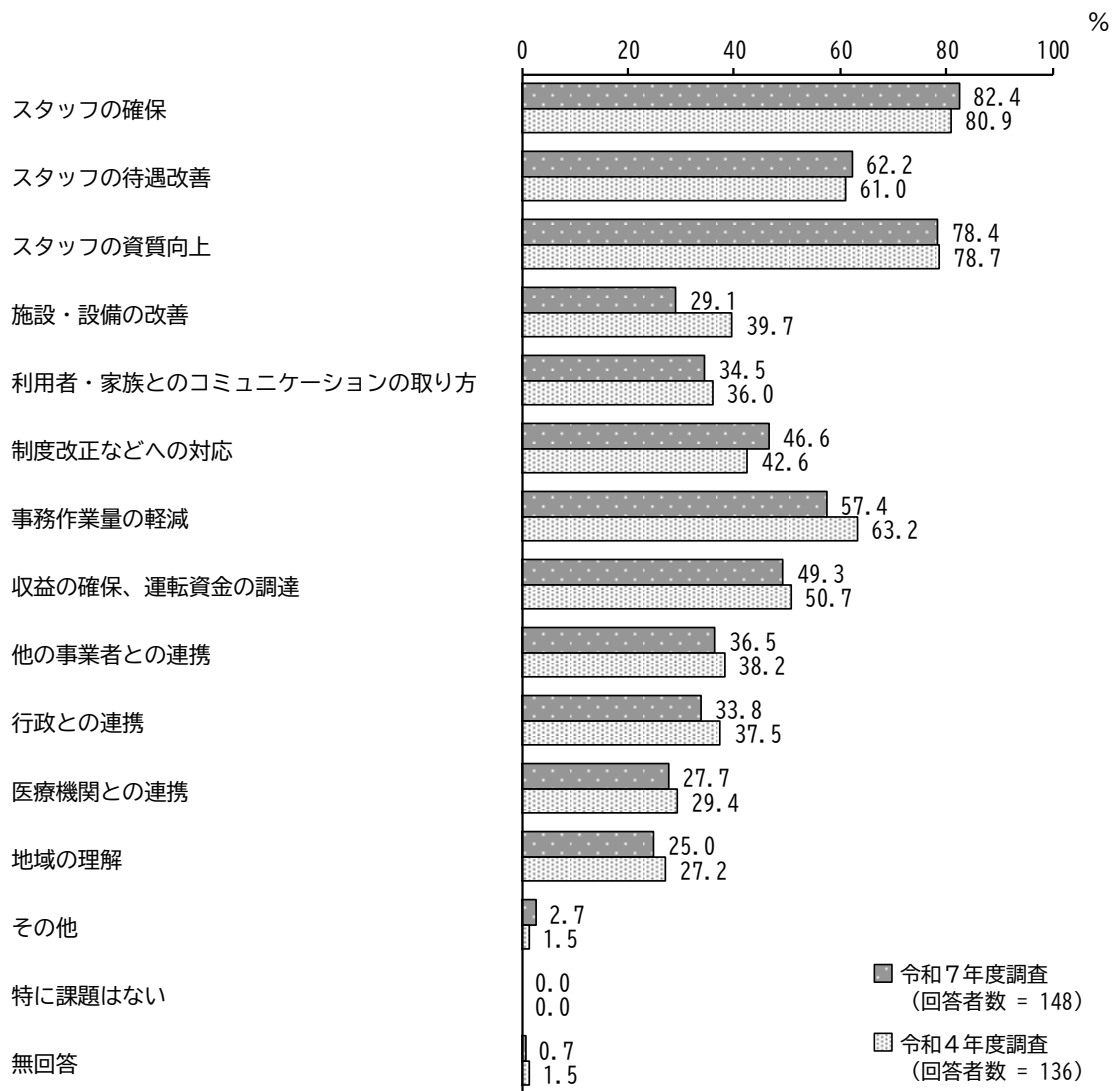


### (3) 事業所運営

問17 貴事業所を運営していく上での課題について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

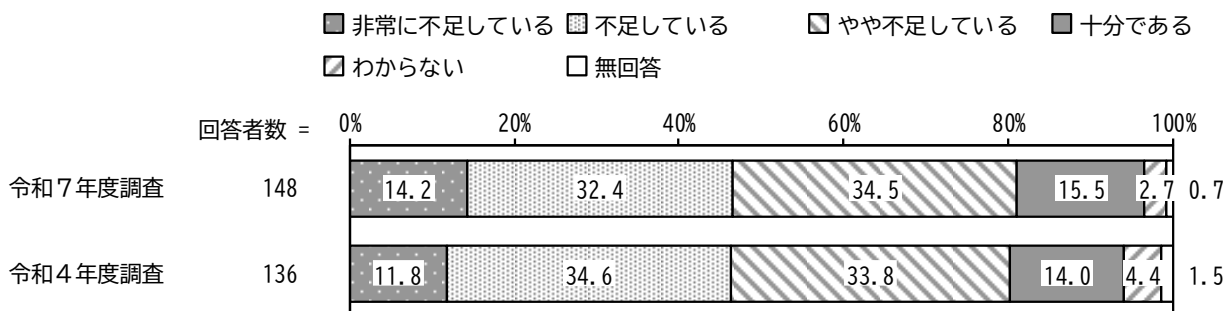
「スタッフの確保」の割合が82.4%と最も高く、次いで「スタッフの資質向上」が78.4%、「スタッフの待遇改善」が62.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「施設・設備の改善」「事務作業量の軽減」が減少しています。



問20 職員数は充足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

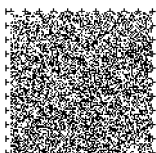
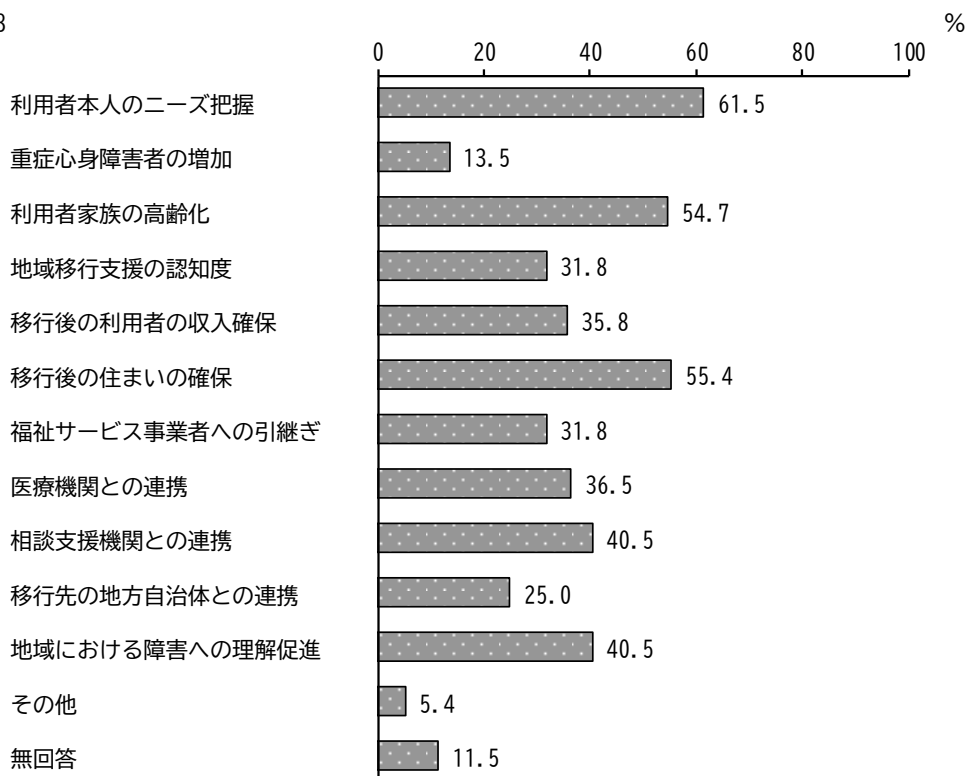
「やや不足している」の割合が34.5%と最も高く、次いで「不足している」が32.4%、「十分である」が15.5%となっています。「非常に不足している」「不足している」「やや不足している」を合わせると、職員不足とする事業所の割合は全体の81.1%となっています。



問31 入所者の地域生活への移行を進める上での課題と思うことについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「利用者本人のニーズ把握」の割合が61.5%と最も高く、次いで「移行後の住まいの確保」が55.4%、「利用者家族の高齢化」が54.7%となっています。

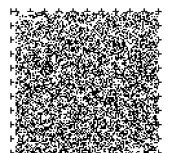
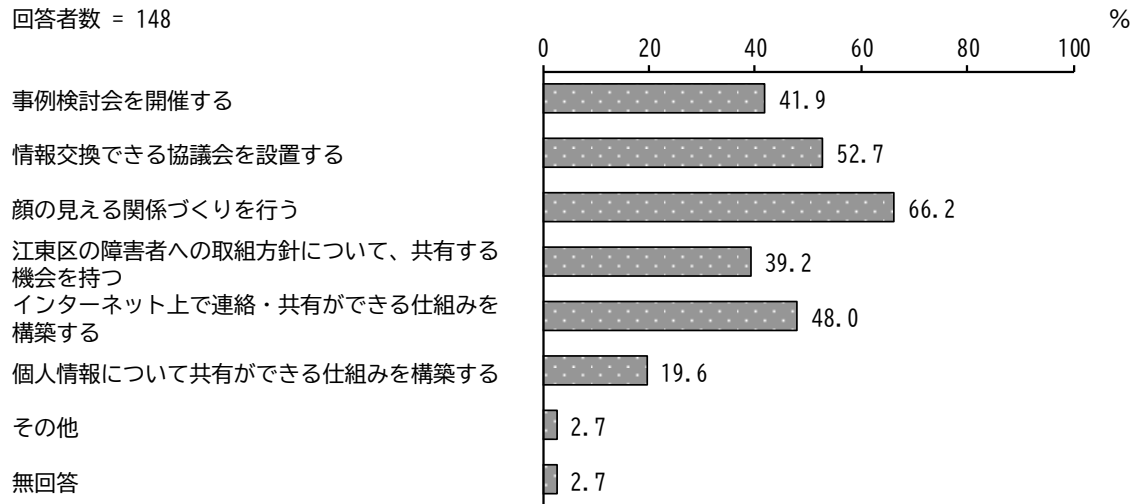
回答者数 = 148



問41 関係機関・団体との連携を強化するために必要なことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「顔の見える関係づくりを行う」の割合が66.2%と最も高く、次いで「情報交換できる協議会を設置する」が52.7%、「インターネット上で連絡・共有ができる仕組みを構築する」が48.0%となっています。

回答者数 = 148



れいわ ねんど  
令和7年度

こうとうくちいきせいかつ かん ちょうさ  
江東区地域生活に関する調査

こうとうくしょうがいしやじつたいちょうさ  
(江東区障害者実態調査)

ちょうさけつ かほうこくしよ がいようばん  
【調査結果報告書 概要版】

はっこうねんげつ れいわ ねん がつ いんさつぶつとうろくばんごう ちょう  
発行年月：令和8年3月 印刷物登録番号(7)121号

へんしゅうはっこう こうとうく しょうがいふくしよ しょうがいしやしさくか  
編集発行：江東区 障害福祉部 障害者施策課

〒135-8383 とうきょうとこうとうくとうよう  
東京都江東区東陽4-11-28

でん わ  
電話：03-3647-4749 F A X：03-3699-0329

